

1. 次の文を中国語に翻訳せよ。(50%)

やや強引に大きくくくってしまえば、チェーホフはユーモア作家である。読んで大笑いしてしまうようなコント的作品を書いたという意味ではないのだが。

チェーホフのユーモアは人間観察の正確さ、人間の弱さや悪さへの洞察の確かさからもたらされる。ああ、確かに人間ってそんなふうだ、と思い知らされる味わいなのだ。

若い頃から生活のためにコントや雑文を書きまくった（その頃の本業は医者）チェーホフは、二十八歳で作家として本格デビュー（一八八八年）すると、以後は人間の本質に迫る短編小説の名手となった。そして、戯曲のほうでも数々の名作を遺した。

『桜の園』（一九〇四年）は、四十四歳で結核のため亡くなる彼の、最後の戯曲である。時代が大きく移り変わるロシアの、没落する古い領主と、農奴上りの新興成金との対比が物語られる。

桜の園という広大な領地を持つ女地主のラネーフスカヤが、パリから自分の屋敷へ帰ってきた場面から話は始まる。ラネーフスカヤも、その兄のガーエフも、きのうまでの生活が明日以降も続いていくだろう、としか考えられず、何があるがまるで思考力がないかのように、なんの手も打てない人間である。かなりの借金を抱え込んでいるのに、普通の贅沢をして、チップをばらまくようなありさまだ。

【清水義範（2008）『世界文学必勝法』より抜粋】

2. 請將下列中文翻成日文。(50%)

先談「聽」與「說」。我的觀察，許多企業家雖然決策思維敏銳而有創意，但溝通上經常有兩個問題：第一、即使他對事情看得透徹，但部屬或晚輩往往聽不懂他決策的理由，他自己也常感到別人無法理解他的想法；第二、即使是心態開放，卻不能完整理解與吸收他人意見；而至於高階經理人，雖然每天都在與人溝通，包括下達指令、協商談判、交際應酬，但對推理過程卻很少有聽與講的練習。

然而，如果一個企業、或是整個國家，都是「我講什麼講不清，你也懶得聽、聽不懂，第三個人講我們也聽不懂」，那溝通就很困難了。幾項單純的問題卻需要開會幾小時，部分原因即在於此。

其次是「讀」。現代知識總量不斷增加，當一個人在做學生的時候，吸收知識的方式只靠老師授課，他自己用不著讀書，那麼，他離開學校之後，很難靠閱讀成長。進一步看，如果一個社會多數人都沒有辦法自行閱讀，那麼，何來知識經濟？

最後是「想」。現在台灣的教育，相較於西方，獨立思考的訓練做得太少，上課就要老師講課，才是主流；可是，老師在那邊講，講對講錯？學生懂不懂？都無法得知。學生不敢問，老師也不好意思問學生，就這樣混了六年、12年、16年，那學生畢業出社會後怎麼能獨立思考？

【擷取自〈個案教學幫企業再進化〉《哈佛商業評論》  
(2015年12月)】